

隣語講座

隣語を学ぶきっかけ、続ける理由

中高生に隣語を学び始めた動機を聞くと、「親が好きだったから」「親に勧められたから」という回答をよく聞きます。より多くの中高生に隣語を学んでもらうために、保護者にも働きかけて、さまざまな言語と文化にふれてもらう場をつくりました。さらに今年初の試みとして、中高生が隣語を学ぶだけでなく、その隣語を高校生のときに学んでいた先輩大学生と交流する機会も設けました。

世界の言語
と文化を
知ろう！

ことばや文化にふれること

小出麻紀

東京都立杉並総合高等学校PTA会長

杉並総合高校には国際交流関係の行事がたくさんあり、PTAとしてできるだけの協力をしています。若林校長からもいろいろとアイデアが出てきます。国際文化フォーラムと東京都総合学科教育研究会の共催で始まった「世界のことばと文化を知ろう」シリーズもそのひとつです。メディアを通して知るだけでなく、

実際にことばや文化にふれてみようというものです。こうした機会をつくることはとても重要です。

私自身、こんな体験をしたことがあります。子どもが幼いときに通っていた体操教室に、韓国のお子さんが入ってきました。お母さんは電子辞書を片手に積極的にコミュニケーションをとってきて、それがきっかけで家族ぐるみの付き合いになりました。そのお母さんの故郷である済州島を訪ねたときには、親戚の方たちからも歓待をうけました。それまで何となくもっていた韓国へのイメージは大きく変わったのです。

今回の講座は、ただ一方的に聴くだけでなく、保護者、生徒、先生が同じテーブルで、隣国のことばを学ぶ意味やこれからのことなどについて

て自由に意見交換をしました。ほかのPTA役員たちからも、参加型がよかった、また同じようなことがあったら参加したいという声があがりました。

いま、PTAではサークル活動をいくつか進めています。今回の講座をきっかけに今後、韓国語や中国語を学ぶサークルができたらいいなと思うようになりました。



「誕生日に食べるものは何でしょう？」など講師から出されたクイズの答えをグループで相談。計10問のクイズが出されるたびに盛り上がった。

【事業データ】

世界の言語と文化を知ろう！ 第1回：世界の韓流と日本の韓流——韓国を知ろう！
日時：6/20(土)、場所：東京都立杉並総合高等学校、主催：東京都高等学校総合学科教育研究会、共催：TJF、協力：東京韓国教育院、東京都立杉並総合高等学校PTA、講師：阪堂千津子(東京外国語大学非常勤講師)、参加者：58名(高校生、保護者、教員)

b-lab
x
TJF
韓国語講座

やってみればいいんだ

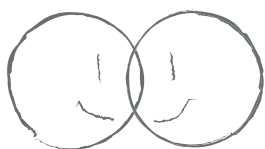
堀川智聡

国士舘大学2年

「自分の経験を紙芝居にして中高生に話をしてほしい」と頼まれたとき、最初は断ろうと思いましたが、人見知りで、初めて会う人とのコミュニケーションが苦手なのです。でも、2014年に参加したTJF主催の交流プログラム「SEOULダンス・ダンス・ダンス」の経験を思い出して、

中高生に伝えたいことが湧き上がってきました。それは「自分から相手の心に歩み寄ること。ダンス・ダンス・ダンスでは、日韓の中高生36人がグループにわかれてK-POPダンスを踊るのですが、私のグループは相手のことばをしゃべれる子がいなくて、私が通訳の役を務めました。でも、細かなところまでは伝えきれなくて、コミュニケーションがまったくうまくいきませんでした。韓国の子が陰で悪口を言っていたことをプログラム後に聞いてすごくショックでした。でもそれ以上に、なぜそういうことになったのかその子の本心を聞きたいと思って、すぐに力カオトークでメッセージを送りました。すごく気の強い子だったので無視されるかと

思ったのですが、「仲良くなりたいのにことばの壁があつてできなかった、でも楽しかった」と返ってきました。私と同じ気持ちだったことがわかって、すごく嬉しかったです。そして中高生に伝えるために、自分の気持ちを振り返って整理するなかで気づきました。やってみなきゃわからない、やってみればいいんだって。中高生にちゃんと伝わったかどうか不安もありますが、すごくいい経験になりました。



【事業データ】

b-lab x TJF 隣語講座2015 韓国語
日時：9/20(日)、場所：文京区青少年プラザb-lab、主催：文京区青少年プラザb-lab、TJF、講師：張河林(東京大学大学院)、参加者：中高生8名

b-lab x TJF 隣語講座2015 中国語
日時：2016/2/21(日)、場所：文京区青少年プラザb-lab、主催：文京区青少年プラザb-lab、TJF、講師：張明(東京大学大学院)、参加者：中高生9名



紙芝居を使って自分の体験について話す堀川さん。



参加者の名前がハングルで書かれた風船を見ながら、グループでハングルの表をうめていった。

参加した中高生の声

「韓国語を勉強して、こんなことができるようになるんだってわかっておもしろかった」

「ゲームで学べたので、中国語が身近に感じられた」

「交流プログラムに参加した先輩の話聞いて、ことばの壁を理由にしないで言いたいことをはっきり言うことが大切だとわかった」

b-lab
x
TJF
中国語講座



中国語講座で自分の経験を紙芝居にして語る大学生。

参加した親子の声

- 私はメーカーに勤めているのですが、アジアはとても大事な地域です。しかし、子どもがアジアのことにふれたり、考えたりする機会があまりありません。この講座は、子どもがアジアについて知るいいきっかけになったと思います。
- 親の勧めでこの講座に参加しました。今まで知らなかったことばや文化について知ることができて楽しいです。